

3 言葉の学習

組	
番号	
氏名	

1 次の①から⑱のそれぞれの文では、()の中の言葉のどれが適切ですか。言葉を丸で囲みなさい。

- ① 学級の()相違(総意)で目標を決める。
- ② 自分の作品を()自業自得 意気消沈(自画自賛)する。
- ③ 二度と遅刻をしないよう()くぎをさした()けりをつけた()目をかけた()。
- ④ 観客はその試合をかたずを()守って()つかんで()のんで()見守った。
意 「かたずをのむ」・・・心配し、緊張しながらなりゆきを見守ること。
- ⑤ はるか遠い国の出来事に思いを()あずける()はせる()かける()。
- ⑥ その風景があまりにもきれいなので()うっとり()ほんのり()ぼんやり()とながめていた。
- ⑦ 彼をチームの()首相()主将()主唱()に選ぶことにした。
- ⑧ 彼は()機転()機会()機敏()をきかせて危機を脱した。
- ⑨ せっかくながらがんばったのに、その努力が()苦勞()労働()徒勞()に終わった。
- ⑩ 手に汗を()こする()にぎる()けずる()のような危険な思いをした。
- ⑪ おもしろくないことがあって、毎日()うきうき()はらはら()いらいら()していた。
- ⑫ 厚い本だったが、少しずつ読み進んで()いきなり()ついに()かなり()全巻を読み終えた。

⑬ あなたの作品は、たいへん（公表 講評 好評）でした。

⑭ 小さいときからの（習慣 習作 習得）で、午前六時には目が覚める。

⑮ 大会に向けて（一進一退 一心不乱 一石二鳥）に練習に取り組んだ。

⑯ まだこの作品は（未 無 不）完成です。

⑰ 読みたい本があると聞いて、私は（てっきり さっぱりと さっそく）
図書室へ行った。

⑱ 母から、「勉強も、野球ぐらい一生懸命やりなさい。」とよく言われるが、
（決して 別に 確かに）自分でもそう思うことがある。

調 意味の分からない言葉は調べてみよう。

2 次の各文の（ ）に合うもつともふさわしい言葉を の中から
選んで、その番号を書きなさい。

① バスが（ 4 ）来ません。

② （ 6 ）雨が降り出しました。

③ （ 2 ）給食の時間です。

5	3	1
すらすら	いろいろ	いったい
6	4	2
きゆうに	なかなか	そろそろ

3 次の各文の傍線ぼうせんの部分は不適切です。どのように直すかといひでしょうか。
正しい書き方をア・イ・ウの中から選んで○印をつけなさい。

① まるで恐竜が生きています。

ア 生きていません ① 生きているかのようです ウ 生きているでしょう

② とてもきれいなモンシロチョウになるとは思います。

② ア 思えません イ 思いました ウ 思えました

③ もしモンシロチョウでなくてガでも、どうしようかと思いました。

ア ガなので、 ① ガだったら、 ウ ガのままなら、